

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 95

事業名	自主防犯意識の醸成促進事業		
担当課・室・班名	生活安全課 防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	警察、市町村と連携を図り、特定の罪種、あるいは特定の被害者層に的を絞った、実効性のある効果的な広報啓発活動を協力に実施する。 また、高齢者の万引き犯罪の増加により、社会問題化している万引き対策として、県、県警、事業者等が連携しながら、万引きを発生させないための広報・啓発事業を実施する。さらに、安全安心まちづくり旬間における防犯パトロール隊出動式等の実施により広く県民の防犯意識の高揚を図る。(26年度新規事業)					
当初予算額(千円)	25年度	4,052	26年度	3,985	27年度	2,986
決算額(千円)	25年度	2,687	26年度	2,961	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発用防犯グッズ等(空き巣被害防止チラシ130,000枚、クリアファイル2,500枚、いかのおすし手さげ袋2,000枚、「安全安心まちづくり旬間」ポスター4,000枚)の配布</li> <li>・安全で安心なまちづくり旬間に、防犯パトロール隊出動式を実施 など</li> </ul>
---

(2)事業の成果

「安全で安心なまちづくり旬間」における防犯パトロール出動式の実施や啓発グッズの配布に積極的に取り組んだ。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

今後、即効力のあるアドバイス等を掲載したリーフレットやひったくり防止に効果が高い自転車用かごカバーなど、犯罪被害を防止する効果の高い防犯グッズを作成していく。
---

4 委員意見

--

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 96

事業名	防犯意識を高める広報啓発事業		
担当課・室・班名	警察本部 子ども女性安全対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	○電車内における痴漢対策強化期間を設定して駅頭等で防犯キャンペーンを実施する。 ○小・中学校、高等学校における防犯講和等を実施し、防犯意識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	25年度	—	26年度	—	27年度	—
決算額(千円)	25年度	—	26年度	—	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<p>○6月第1週を痴漢対策強化旬間とし、各警察署において、自治体・鉄道事業者と共働したキャンペーンを実施した。</p> <p>○各学校からの依頼を受け、防犯講和や不審者対応訓練等の被害防止教育を推進した。</p>
---

(2) 事業の成果

<p>○ 児童・生徒や教職員等に痴漢や声かけ事案等に対する防犯意識の向上が図られた。</p>
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>○ 継続的に、学校等と協力した被害防止教育等を推進していく。</p>
---------------------------------------

4 委員意見

<p> </p>
----------

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 97

事業名	防犯ボランティア活動促進事業		
担当課・室・班名	生活安全課 防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の犯罪抑止に大きな役割を担うようになってきた県民の自主防犯ボランティア団体の活動を継続、発展させていくため、自主防犯ボランティア団体の育成を図る。 (26年度新規事業)					
当初予算額(千円)	25年度	1,530	26年度	2,255	27年度	1,489
決算額(千円)	25年度	1,141	26年度	1,657	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ・防犯ボランティア研修会3回実施
- ・防犯ボランティア交流大会1回実施
- ・自主防犯活動情報誌の発行(年2回 1,500部/回)

(2) 事業の成果

地域の防犯活動を行っている防犯ボランティアの支援を積極的に行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

今後、地域単位での防犯ボランティア活動の活性化に向けた取組を強化していく。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 98

事業名	地域の防犯力アップ補助事業		
担当課・室・班名	生活安全課 防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	地域の防犯力アップに大きな役割を担っている県民の自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図る。					
当初予算額(千円)	25年度	1,175	26年度	1,400	27年度	1,600
決算額(千円)	25年度	1,167	26年度	1,235	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・パトロール用資機材整備費の補助(18市村)

(2)事業の成果

地域の防犯活動を行っている防犯ボランティアへのパトロール用資機材整備への支援を、各市村を通じて積極的に行った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

地域の防犯力アップのため、引き続き、防犯パトロール資機材整備の補助を推進していく。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 99

事業名	安全で安心なまちづくり推進事業		
担当課・室・班名	生活安全課 防犯対策推進室	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県安全で安心なまちづくりの促進に関する条例に基づき、県民一人ひとりの防犯意識の向上と自主的な防犯活動に取り組めるような推進体制の整備を図る。 (26年度新規事業)					
当初予算額(千円)	25年度	444	26年度	472	27年度	415
決算額(千円)	25年度	88	26年度	345	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

・合同防犯診断6回実施
-------------

(2) 事業の成果

住民、市町村、警察などが参加した防犯現地診断を行うことにより、相互の認識を深めるとともに、防犯力のある地域コミュニティづくりを進めた。
---

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

地域の安全情報を共有し、犯罪の起こりにくい地域コミュニティづくりに取り組むため、引き続き、合同防犯現地診断を実施していく。
---

4 委員意見

--

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 100-1

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	学校安全保健課 安全室	問合せ先(電話番号)	4091

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	「地域防犯研修会」の開催。県警や地元警察署、防犯団体と連携し、地域安全マップをはじめとする最新の防犯知識と技術を伝達する。					
当初予算額(千円)	25年度	136	26年度	160	27年度	160
決算額(千円)	25年度	5	26年度	60	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

「地域防犯研修会」を県内5か所、全ての教育事務所管内で実施した。各研修会では、学校関係者、防犯関係団体の方々、スクールガード等が参加し、5会場で合計819名が参加した。

(2) 事業の成果

学校関係者や防犯関係団体の方々、スクールガード等を対象に「ちばっ子地域安全マップづくり」の実践をはじめとする防犯知識や技術の伝達、有識者による防犯教育の講演、地元警察署の方々による地域防犯の状況説明及びスクールガードリーダーの取り組みの報告等を行い、参加者の防犯活動に対する意欲の向上を図るとともに防犯知識や技術の伝達ができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

平成25年度まで「地域で子どもを見守る活動支援集会」として、隔年で行っていた集会を平成26年度から「地域防犯研修会」と改め、5教育事務所全てで開催した。今後も同様の開催をしていきたいと考える。  
また、これまで防犯を目的とした「安全マップづくり」を中心に取り組んできたが、現在の交通事故の状況や東日本大震災における被害の体験などから、それぞれの地域性を考慮した「交通安全マップづくり」「防災マップづくり」の推進にも取り組んでいきたいと考える。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 100-2

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警察本部 子ども女性安全対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	○ 県警ホームページ上の「不審者情報マップ」による情報発信とメール投稿機能による不審者情報の収集を行う。					
当初予算額(千円)	25年度	—	26年度	—	27年度	—
決算額(千円)	25年度	—	26年度	—	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○警察で認知した不審者情報の発生地区(行為者の検挙・警告状況)を県警ホームページ上において情報発信を実施するとともに、メール機能を利用した不審者情報の収集を実施した。

(2) 事業の成果

○ 県民が、声かけ等の事案発生状況を閲覧することにより防犯意識の向上が図られた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

○ 継続的に、情報発信と情報の収集を推進していく。

4 委員意見

# 千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 101

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

## 1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や、啓発用物資の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。					
当初予算額(千円)	25年度	841	26年度	766	27年度	778
決算額(千円)	25年度	433	26年度	396	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

## 2 事業実績・評価等

### (1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店85件、書店等287件、インターネットカフェ38件、カラオケボックス75件等、計493件(うち301件は権限移譲市町実施分)の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。</li> <li>・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限を移譲した4市町(千葉市・銚子市・富津市・大多喜町)により立入調査が行われた。</li> </ul>
---

### (2) 事業の成果

<p>立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗における千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、事務権限を移譲した4市町による立入調査の実施により、地域における青少年健全育成の充実を図った。</p>
--

## 3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<p>青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。</p> <p>また、地域における青少年健全育成の充実を図るため、立入調査に係る事務権限の市町村への移譲を進め、より効果的な実施を目指す。</p>
---

## 4 委員意見

Empty box for committee comments
----------------------------------



千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 102

事業名	青少年ネット被害防止対策事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方針	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	青少年の利用頻度の高いサイトを監視するとともに、関係機関と連携し、いじめ、非行行為、犯罪被害などの防止を図る。					
当初予算額(千円)	25年度	4,588	26年度	5,025	27年度	5,541
決算額(千円)	25年度	4,660	26年度	4,679	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	
	○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット監視員2名を配置し、パソコンと携帯電話を使用して、県内の全ての中学校、高校、特別支援学校(計約630校)の生徒が行っているSNSなどについて、監視を行った。問題のある書き込みを見つけた場合の措置として、特に問題のある書き込み(レベル2、3)を発見した場合に、教育委員会等に連絡し、削除を含めた生徒への指導を依頼した。自殺、ネットいじめ、事件性の高いものについては、学校、教育委員会、警察など関係機関と早急に対応した。</li> <li>・学校、関係機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し講演を実施した。</li> </ul>
---

(2) 事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツイッターなどのSNSへのネットパトロールを強化した結果、平成25年度より1,414人多い、4,689人(25年度比43%増)の問題のある書き込みを発見した。これらの書き込みの中で問題のあるものについては、学校等を通じて指導・削除等を行った。</li> <li>・学校、諸機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し、講演を実施した。昨年度は87回実施し、22,203名の参加があった。インターネットの適正利用について啓発を図ることができた。</li> </ul>
---

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も引き続きネットパトロールを継続し、子どもたちを見守りながら、関係機関と連携・協力し、指導や保護につなげていく。</li> <li>・インターネットの適正利用について、効果的な啓発の仕方を検討していく。</li> </ul>
---

4 委員意見

--

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 103

事業名	サイバー犯罪対策の推進		
担当課・室・班名	警察本部 サイバー犯罪対策課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	県下の学校等教育機関を対象としたネット安全教室を開催し、インターネットを利用する上での規範意識の向上や、情報セキュリティ対策に関する知識の向上を図る。					
当初予算額(千円)	25年度	333	26年度	308	27年度	292
決算額(千円)	25年度	333	26年度	189	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

学校等を対象としたネット安全教室を627回(平成26年中)実施した。

(2) 事業の成果

インターネットを利用する際のモラルとマナーの向上に努めるなど、利用者に対して被害者にも加害者にもならないよう広報啓発を図ることができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

サイバー犯罪の手口は悪質・巧妙化するとともに、新たな技術やサービスが出現し、それらが犯罪のツールとして悪用される可能性も拡大していることから、常に最新情報を取り入れたネット安全教室を開催するとともに、広報啓発活動を継続して推進していく必要がある。

4 委員意見

千葉県青少年総合プラン 平成26年度事業評価シート

計画番号 104

事業名	暴走族総合対策の推進		
担当課・室・班名	警察本部 交通捜査課	問合せ先(電話番号)	201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ 子ども・若者の成長を支える地域・社会づくり					
基本目標	6 社会環境の見直しと整備					
基本方策	11 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応					
事業内容	暴走族等の取締り強化により、構成員の検挙、グループの解体により、少年を暴走族等への加入防止の措置を図る。 また、既存の暴走族等に加入している少年への離脱支援活動を推進する。					
当初予算額(千円)	25年度	50	26年度	50	27年度	59
決算額(千円)	25年度	39	26年度	49	27年度	
財源内訳	県単(○)		県単(○)		県単(○)	

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

- ①暴走族による集団暴走の取締り  
毎週末、県内全域において、集団暴走事案に対する警戒取締りを実施し、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)等を適用した捜査を推進した結果、暴走族グループによる大規模集団暴走事件を解決した。  
(H24年3事件、検挙49人:H25年1事件、検挙25人:H26年4事件、検挙51人)
- ②広報啓発活動の推進  
暴走族取締り強化期間における指導取締りを強化するとともに、暴走族防止排除ポスターを活用して、広報啓発活動を実施した。
- ③暴走族相談員による離脱及び加入防止相談の実施  
暴走族に加入している少年及び保護者から、離脱及び加入に関する相談の他、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)で検挙した少年の保護者に対し、青少年の健全育成を目的とした再発防止・離脱相談に対応した。

(2) 事業の成果

- ①館山市、山武市、印西市及び君津市内の暴走族グループによる集団暴走に対し、道路交通法(共同危険行為等の禁止違反)を適用し、同グループを検挙解体した。
- ②暴走族グループ及び構成員は減少傾向にあるものの、県民に多大な危険と迷惑を及ぼす集団暴走に対する警戒、取締り強化により、県民の安全で安心できる交通環境づくりに成果があった。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

- ①不良少年による小規模な爆音暴走が多くなっている。
- ②暴走族に対する指導取締りを強化して、検挙解体し、少年を暴走族グループから離脱させることにより、青少年の健全育成を図るとともに、再発防止・加入阻止を推進していく。

4 委員意見